



徳山大学校友会誌  
**とくだい**

**第17号**

平成8年3月25日

発行所 徳山大学校友会  
〒745 山口県徳山市久米  
徳山大学内  
TEL 0834 (28) 7454代

発行責任者 國 廣 憲  
編集発行人 瀬 川 昌 文

**校友会20周年特集号**

完全保存版



**何物かを希求せずにはおられない  
若い世代のための大学として**

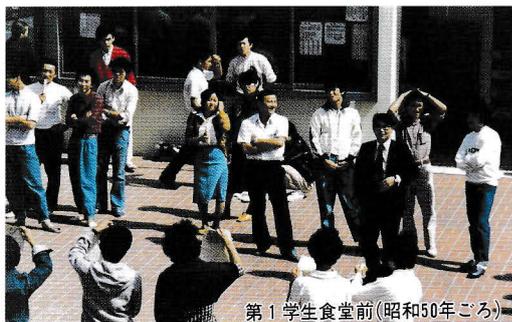
**知識とともに魂の教育を  
重視する大学**

右写真は草創期の本学の様子。本学は昭和四十六年学校法人中央学院徳山大学として経済学部経済学科の一学部一学科でスタートした。開学にあたって、当時の高村徳山市長は「公正な社

会観と正しい倫理感の確立を基に、知識とともに魂の教育を重視する大学となり、日本の大学教育のモデル」となることを祈念すると言われた。  
また、初代学長の湯村先生は「真のヒューマニズムの意義を自ら体得するよう人間形成の場として万全を期するよう努力します」と述べておられた。



入学式・記念館前(平成6年度)



第1学生食堂前(昭和50年ごろ)

**そして二十一世紀を  
目の前にして**

**校友会の果して  
行くべく姿は**

現在の徳山大学は経済学部経済学科経営学科の一学部二学科学生数二千四百名。  
校友会設立から二十年の月日が流れた。それとともに、会員数(卒業生数)も九千人を越え親睦団体の枠にとられない母校支援の団体として着実な歩みを続けている。  
これからの校友会の果たすべき姿とはどのようなものになっていくのだろうか。現在大学を取りまく状況は決して楽観できるものではないだろう。十八歳人口の減少に伴う受験者の減少により各大学とも対策を講じてきている。本会も、二十周年を迎えやと本格的活動ができる団体として頭角をあらわしてきたというところではないだろうか。これからも本会は母校に対してその発展のため、さまざまな支援活動を行っていくべきであらう。



# 校友会20周年記念イベント

## 史上最大のパーティーの幕開け

地域の財界人、文化人、  
大学教職員を交え、  
熱い一時は送られた。

徳山大学二十周年記念パーティーは平成七年六月二十四日(土)徳山のアド・ホックホテル丸福で開催された。来賓として高村経済企画庁長官をはじめ周南地区の市長議長高校長、さらに商工会議所会頭を招待した。大学より理事長、



学長他教職員多数を招待、総勢三百名の出席者で行われた。これほどの規模のパーティー(同窓会)は他に類をみることはないものであり、地域に対して大学の存在意義をらしめるものであった。会は、最初に主催者挨拶からはじまり、校友会を代表して豊岡氏より地域のなかでの徳山大学の役割の大きさと、それに伴う校友会の果たしていく使命について言明され、力強く挨拶がされた。続いて各来賓より祝辞が述べられ、徳山市議会議長の高松氏の発声により乾杯が行われ開

宴した。パーティーは終始和やかな雰囲気の中で進行された。アトラクションとして、ものまねタレントのトニーヒロタシヨが行われ、和田アキ子や、松山千春のものまねに爆笑の渦となった。また、OBによる飛び入りの歌や、紹介なども行われた。会の最後は、河村下松市長の万歳三唱により盛大に締めくくられ、本会二十周年にふさわしい内容で終了した。その後OB・恩師交えて夜おそくまで、久しぶりの再会の美酒に徳山の街は賑わったようだ。



「なごり雪」22才の別れ」  
等数多くの名曲で有名な元かぐや姫の伊勢正三のコンサートが開催された。会場には1150名の聴衆が集まり、新田おりませ約20曲を披露。ノスタルジックな雰囲気の中、各自青春の思い出とダブらせていたようだった。

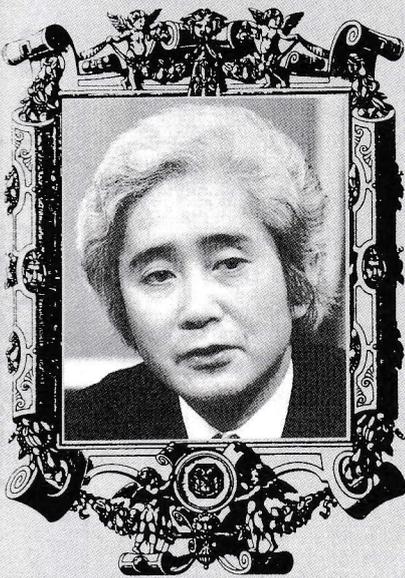
## LIVE & LECTURE

「人間再発見」という演題で阪神大震災の経験をはじめめとしてテレビやラジオでお馴染みの流暢なテンポで観客を片時も離すことなく魅了した。1250名の聴衆にはまさしくアツという間のひとときであっただろうし、自分再発見のヒントを得たかもしれない。

### 校友会20周年記念コンサート

平成7年10月5日(木)  
徳山市文化会館

## 伊勢正三LIVE'95



### 校友会20周年記念講演会

平成7年9月18日(月)  
徳山市文化会館

## 藤本義一講演会



現在まで校友会事業部では学生の福利厚生の上を目指し、よりよい学生生活のために多くの事業をおこなってきた。100円で談話できる喫茶経営、24時間対応の学生総合保障制度、そして学寮の経営などが代表的なところである。これらの事業は学生生活と直結し、常に学生生活の側面を支えてきている。しかし、反面その個々の業務の煩雑さは、対外的なものが多いがゆえに、想像を越えるものがある。学生のためにやろうとする

## これまでの校友会事業

## 20周年にあたりネクストステップ

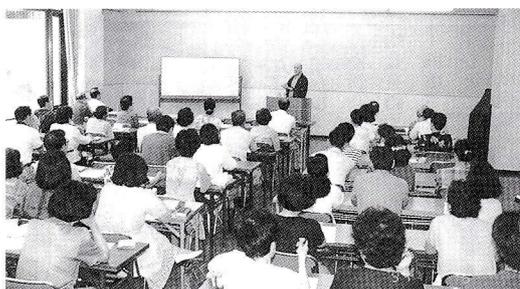
## 校友会20周年記念事業 学生生活サービスセンター(仮称)

ればする程、いわゆる校友会役員というボランティア的立場においての事業部運営の限界性というものが出てくるというのが最近の現状といえる。



## 次のステップを見つめる

さてそこで、次のステップとしてここに登場しようとしているのが学生生活サービスセンター(仮称)という別組織である。校友会本体と切り離された、株式会社設立である。資本金は大学と本会の共同出資、平成8年度中のスタートをめざして下記の業務が検討されている。このことにより校友会本来の会員相互の親睦を図る、あるいは在



- ① これまでの事業部事業
- ② 書籍・日用品・学用品・電化製品の販売業務
- ③ 各種資格取得講座の運営業務
- ④ 公開講座の運営業務
- ⑤ 駐車場管理業務
- ⑥ その他

## 学生生活サービスセンターで検討される事業

学生への援助といった面の事業を促進することができ本会の充実発展につながると考えられる。まさに20周年にふさわしいネクストステップのための事業と言えるだろう。

## 徳山大学校友会の歩み

### ◎ 徳山大学校友会 会員数 8,901名

広島支部 昭和56年7月5日 発足  
 関東支部 昭和61年11月8日 発足  
 山口県東部支部 昭和63年2月21日 発足  
 ※その他クラブ・職域でOB会が組織されている。

### ◎ 徳山大学校友会 沿革

昭和49年(1974年)12月 徳山大学OB会発起人会開催  
 昭和50年(1975年)3月 第1回OB総会開催・OB会発足  
 昭和55年(1980年)2月 第1回徳山大学同窓会開催  
 // 2月 名称を徳山大学校友会に変更  
 昭和57年(1982年)10月 徳山大学記念館に縦帳寄贈  
 昭和62年(1987年)4月 徳山女子短期大学にブロンズ像  
 平成2年(1990年)10月 徳山大学に建学の碑寄贈

### ◎ 徳山大学校友会 主な年間活動

- 卒業生に対する活動
  - (1) 校友会誌発行
  - (2) 支部助成
  - (3) 各同窓会援助
  - (4) 名簿作成
- 母校に対する支援活動
  - (1) 学寮経営 (城ヶ丘寮・速玉寮・道仁寮・光風寮)

- (2) 喫茶経営 (大学10号館にて)
- (3) 保険事業 (学生総合保障制度)
- (4) クラブ団体助成 (全国大会出場クラブへの助成)
- (5) 校友会文庫 (大学図書館への図書寄贈 現在約1,000冊)

- (6) 卒業記念品・卒業生名簿贈呈
- 地域社会に対する活動 文化講演会・セミナーの開催
- (1) 文化講演会 (会場：徳山市文化会館)
  - ～徳山市文化振興財団との共催～

平成4年1月23日 五木 寛之 「暗愁のゆくえ」  
 平成5年3月10日 椎名 誠 「風のようなはなし」  
 平成6年3月26日 小沢 昭一 「明日のこころ」  
 平成7年5月25日 内館 牧子 「刺激的な男たち・子たち」  
 平成7年9月18日 藤本 義一 「人間再発見」

- (2) 文化セミナー (会場：徳山市文化会館)
    - ～徳山大学教授陣による市民対象のセミナー～
    - 徳山大学総合経済研究所・徳山市民文化振興財団と共催
- 平成5年度 杉光 英俊・福島 康人 粟屋 剛・大竹 義則  
 平成6年度 浅野 一郎・大西 昭生・佐理伴真育  
 平成7年度 井上 和幸・佐原 昌弘・中谷 孝久

平成8年3月現在

# 平成7年度評議員会開催

## 平成6年度決算、7年度予算承認 新役員選出される

- 平成7年度評議員会が6月24日(土)アド・ホックホテル丸福にて行われた。議事は次の六項目であった。
- (1)第1号議案…平成6年度事業及び決算について
  - (2)第2号議案…平成6年度監査報告について
  - (3)第3号議案…平成7年度活動方針及び事業計画について
  - (4)第4号議案…平成7年度予算案
  - (5)第5号議案…役員改選について
  - (6)第6号議案…その他



この中で、まず1号議案について各部長より事業報告がされ、その後幹事会について報告(7年度3回開催)があり、平成6年度決算について原案どおり承認された。続いて監査の米山氏(1期卒東山口信用金庫勤務)、松宮氏(7期卒総合警備保障勤務)より6年度予算について適正に処理されているとの報告を受けた。

3号議案である本年度の活動方針として、設立20周年を迎え、柔軟な発想のもとに校友会並びに母校の発展に寄与貢献していく。そのために、学長の「地域に愛される大学」「地域に尊敬される大学」という理念を支援し、大学との協力体制をとっていくという方針が発表された。

今年度は役員改選の年にあたり平成7年度から8年度2年の役員を選出した。会長には新しく國廣憲氏(1期卒中国アセチレン勤務)が選出された。この後平成7年度予算並びに20周年記念事業予算について幹事長より説明、承認を受けた。

新会長のもと校友会の新たな展開を期待したい。

新会長は信義を重んじ、同窓生の輪を大きく広げたいと語る。

今回新会長に就任した、國廣氏に抱負を語ってもらった。

「國廣さん、会長就任にあたりまずひとことお願いします。この度皆様のご推薦により会長

を引き受けることになりその重責を感じております。

これからは校友会の発展のため会員の皆様並びに幹事の方々のご協力をいただき運営していきたいと考えています。

— 会長が信条とされていることはどんなことでしょうか。

私は、人と人との繋がりは大切にしていかねばならないと思っております。このような同窓会では信頼関係というものが何より大切で、信義を重んじたつきあいをしていけば、同窓生の輪も広がり、会も自ずと発展していくと思っております。



●國廣 憲 昭和26年1月11日生まれ、山口県出身。中国アセチレン本社営業推進部長、趣味はゴルフとスポーツ観戦、読書、学生時代は幅広く活動し、大学づくりのために尽力されてきた。非常にかの信望も厚く今後の活躍を期待されている。

### 平成7年度役員

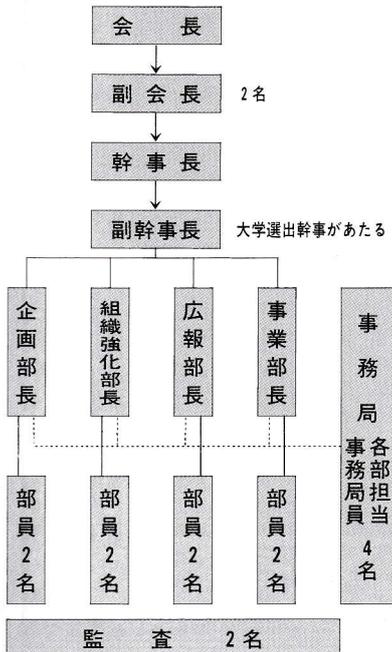
会長	國廣 憲 (広報部長)	山本 啓介
副会長	古谷 幸男	今元 英之
幹事	小坂 稔 (事業部長)	岡 浩治
副幹事	井上 基義	國廣 哲敏
幹事	藤岡 正史	井口 喜友
(組織強化部長)	松宮 光	米山 伸明
	柴村 浩道	柴村 太
	原田 文男 (事務局担当)	三嶋 隆史
(企画部長)	守田 保幸	村瀬 秀樹
	角広 秀彰 (組織強化部担当)	中村 道陽
	箱崎 泰将 (広報部担当)	元山 晃
(広報部長)	磯村 昌文 (企画部担当)	
	瀬川 昌文	

## 徳山大学校友会の 本部組織について

今回役員改選にあたって本部組織について説明したい(下図参照)。

本会には会長・副会長・幹事長がありこれを三役と呼んでいる。大学との話し合いや、その他の外部における折衝等この三役が行う。副幹事長には大学勤務のOBから選出され各部と大学のジョイント的役割をする。事業推進のため四部(企画・組織強化・広報・事業)が設置され部員は大学外OBにより構成されている。各部はそれぞれ事務局に大学勤務のOBがあたり、このとりまとめに事務局長があたっている。事務局長は各部のみならず、三役、さらに支部との調整を行うということから非常に重責かつ多忙となる。それゆえ校友会全体で特に信望の厚い者が担当することとなる。

この会長より各役員を幹事まで(事務局は除く)を幹事と言います。



会議を幹事会と言う。幹事会には会長の招集により年最低2回開催される。この場において、様々な議題が審議され、最終的には定期(毎年6月第四週開催)の評議員会において承認されることとなる。

評議員は1号議員が職域代表、2号議員が地域・支部代表、3号議員がクラブOB代表、4号議員が期別巧労者となっており、現在48名で構成されている。この評議員には卒業生であれば自薦・他薦問わず一定の要件を満たせば事務局と調整の上なることができる。

このようなところが組織のあらましである。役員諸氏は非常に多忙な中、会発展のため努力している。会としてはまだまだ多様な人材を広い世代から求めている。今回少しでも本部組織について関心をもっていただければ幸甚である。

## 各方面で活躍するOBは 皆いい顔をしている。



(19期卒) 三菱自動車川崎勤務  
**齋藤秋博さん**  
神奈川県川崎市在住

社会人野球日本選手権で優勝。チームでは2番ショートでフル出場。大会表彰選手としてみごと打撃賞を受賞した。学生時代から俊足好打でオールマイティな選手として活躍していたが、全国を舞台にその名を轟かしている。今後の活躍をますます期待したい。



(19期卒) 協和発酵勤務  
**山中雅英さん**  
山口県防府市在住

都市対抗野球全国大会にNKKの補強選手として参加、準優勝を果たした。齋藤さんとは大学時代の同級生。山中さんは学生時代キャプテンとしてチームを引っ張っていたが、現在、協和発酵硬式野球部でもキャプテンとして活躍中。最近結婚したばかりで、のりにのっている。

活

躍

その横顔を少し  
ご紹介申し上げます

気

動

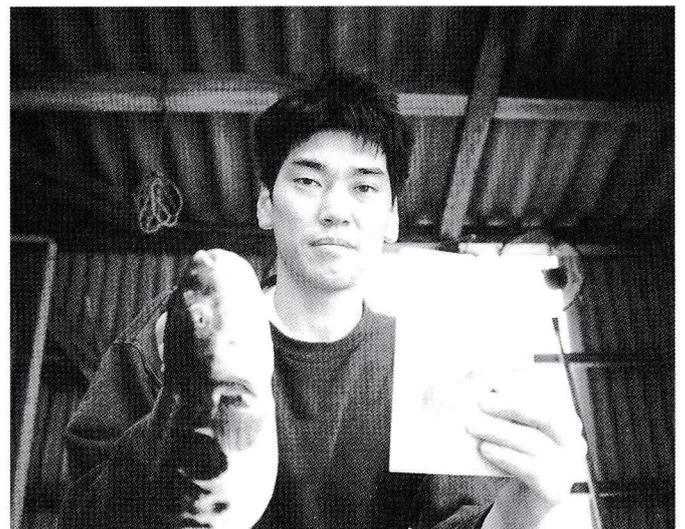
(20期卒) 株式会社遠石会館勤務  
**藤村弘美さん**  
山口県防府市在住

女性が必ず一度は憧れるウェディング。その結婚式を専門にしている職場で働いている彼女は、毎日が楽しいと笑顔で語る。こちらの結婚式に招かれて来たお客さんの中で、徳大の先輩だった人たちに会うこともしばしばあるそう。将来の夢はやはりこちら遠石会館で結婚式を挙げることらしい。



(12期卒) 有限会社青木フグ商店勤務  
**青木義雄さん**  
山口県徳山市在住

家業「青木フグ商店」で鮮魚の卸しをしながら、この度自費で『フクの文化』を出版。フク発祥の地である徳山市民に、もっとフクを知ってもらいたいという一心から執筆。普段はペンよりも包丁を握っている時間の方が長いのだが、原稿は意外にスラスラ書けたとか。現在地域の顔となって多方面で活躍中。




 学内情報  
インフォメーション

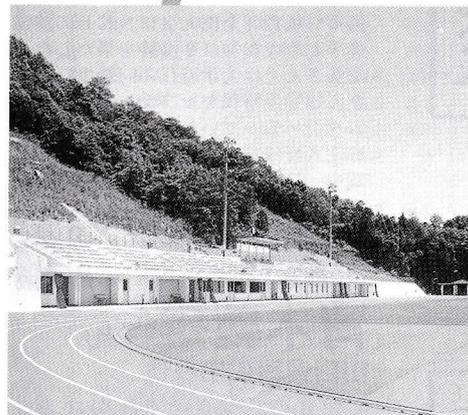
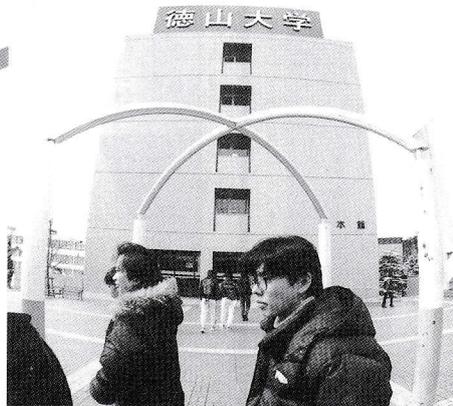
# 移りゆく徳山大学!!

表紙写真を見比べても随分変わったな!と思われる方も多いと思う。時代の変遷とともにキャンパスも変わった。そして今も変わりつつけている。


 文化

## 清潔感に着目したキャンパス

何が、どう変わるといって高層階の校舎ができたとか、音響効果抜群のホールができたとかという、外部にも一目瞭然なキャンパスコンセプトも大切だろうが、近年推し進められているのは清潔感というテーマに沿った学生本位の改築である。例えば温水シャワー、洗面は自動洗浄、学生の使用するトイレで、ひねる、押すということは必要ない。また、窓、壁、天井のリニューアル、教室の空調など、学生が快適にすごせるよう清潔感に溢れるキャンパスづくりがなされている。



## 徳山大学総合グラウンド完成

昨年4月30日徳山大学総合グラウンドが完成した。第3種公認の全天候型ウレタン舗装陸上競技場で、サッカー、ラグビーも試合ができる。この素晴らしいグラウンドで体育祭が開催された。真新しい緑のインフィールドに教職員・学生の心地よい汗が流れた。

## トス(学生ラウンジ)紹介

ご存じのとおり通称学食はトスに生まれ変わり、学生の憩いの場となっている。食堂の方のメニューも定食(380円)ものから1品もの、めん類、カレー、どんぶりものと多種多様。裏庭の桜を見ながらの昼食は1年に1度の最高のシチュエーション。絶品素晴らしい。



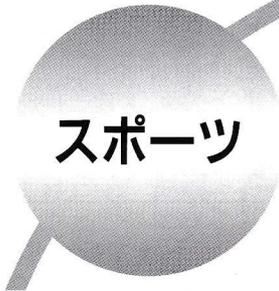
## ぽぷらは最高!!

平成7年1月3日より5日まで今年も盛大にぽぷら祭が挙行された。テーマは“宴”。軽そうに見えるこのテーマの向こうに今の学生ならではの、熱いメッセージを感じた。大祭1週間前は決起週間として、学内でのキャンペーンがおこなわれ、それは2年前より復活した市中パレードにより最高の盛り上がりを見せた。3日間での動員数は約1万人、地域からの来訪者も多く地域一体型の定着したイベントとなった。とりわけ本年度はディスコに代わり、“宴”と称して、ファイヤー点火の後おでんにビール、甘酒を振る舞い、途中ゲームを交えて参加者一体で楽しいひとときを送るといった企画は、大好評であった。尚今回の大祭を記念してぽぷらの植樹が校友会より行われました。



## 緑の風と光のなかで

本年度最優秀団体に選ばれた剣道部は、全国の強豪と凌ぎをけずり3位入賞を果たした。また、ラグビー部も地区対抗大会で準優勝と本年度もスポーツ面の活躍は目ざましかった。



### 国際親善日米レスリング開催

2年に1度国際交流試合として開かれている日米レスリングが本年も本学記念館にて開催された。対戦相手はオレゴン州立大学チーム。米国西海岸ではトップクラスで約700チームある全国でも10位台にランクされる強豪。徳大チームも西日本学生春季リーグ戦で9回目の優勝を果たしており、52キロ級から130キロ級まで熱戦が続いた。また交歓会、記念品の贈呈、演武会などを交え親交が深められた。



松下村塾模築での茶会

### 4年連続全国大会出場

徳山大学女子バスケットボール部は今年も中国地区大会代表として4年連続全国大会に出場した。この部の特徴は非常に学生らしさが備わっていることだろう。練習場の記念館に行くと「こんにちわ」と快活な声で挨拶をしてくれる。気持ちがいい。練習中の動きもきびきびしていて、爽やかである。学生らしさの定義づけは様々だろうけど彼女達はまさしく学生らしさをもってクラブ活動に励んでいる。そんな彼女達の当面の目標は全国大会1回戦突破である。先日の全国大会には関東支部の方が応援にかけつけすぐく励みになったそうだ。おそらく今年も出場は確実。是非とも一回戦突破してもらいたい。



### 2年連続の準優勝

全国地区対抗ラグビー中国・四国大会決勝は四国代表松山大学との間で行われた。徳山大学は終始攻勢で終わってみれば90対5の圧勝であった。この結果、全国地区対抗ラグビー大会に中国・四国代表として出場することとなった。全国大会は全国8地区の代表により行われた。本学は一回戦順天堂大学を41-8で勝ちつづく準決勝仙台大学戦も52-6で圧勝。決勝へと駒を進めた。決勝では惜しくも13-23でおしぎみに進めながら集中力の差で武蔵工業大学に惜敗した。

### 平成7年度 文化体育活動優秀表彰団体

#### 最優秀団体賞

#### (剣道部)

● 全日本学生剣道大会 3位

● 西日本学生剣道大会 優勝

● 西日本女子学生剣道大会 3位

#### (カバディ部)

● 全国学生カバディ選手権大会 3位

● 西日本カバディ大会 優勝

#### 優秀団体賞

#### (レスリング部)

● 西日本学生レスリング 春季リーグ戦 優勝

#### (陸上競技部)

● 全日本大学駅伝最終選考会 2位

#### (女子バスケットボール部)

● 中国学生バスケットボール選手権 秋季大会 2位

#### (柔道部)

● 中四国学生柔道優勝大会 (男子) 2位

● 中四国学生柔道優勝大会 (女子) 3位

#### (ラグビー部)

● 全国地区対抗大学ラグビー大会 代表決定

● 中四国地区代表決定戦 代表決定



## 30人の共同生活 古き良き時代：

昭和51年に開設された城ヶ丘寮がこの3月をもってその20年の歴史に幕を閉じることとなった。4・5畳の部屋、風呂、トイレ、電話共同というスタイルで今日まで。その間、学生団体の役員、各クラブの役員を多数輩出し、学内では「城ヶ丘」というだけで一目おかれる存在であった。これは一見窮屈に見える寮生活の中で寮長を中心にみごと



ばかりの団結力を生む運営形態が続けられてきたからであろう。20年で約600人1学年分の学生がこの屋根の下で過ごしてきた。

城ヶ丘寮では、1年間様々な寮行事が設定されていた。その中でも特色となっていたのが和太鼓演奏である。徳山市の郷土芸能である大徳山太鼓回天の修得を通じて心身の鍛錬を図った。このことは、大学や広く地域にも認識され、今も活躍する回天太鼓同好会の発足の原動力となった。

考えてみると、現代のように少子化のなかで他の人間との共同生活を行う経験は希有である以上に貴重なものと思われる。実際、寮に入った当初の感想と出ていく時の感想には大きなひらきがある。

——思い出さずとも、少しずつ削られてゆくもの、この寮で過ごした思い出もいざ削られて消えてしまふのだろうか。しかし、僕はこんないい思い出を消してしまふのは惜しい気がする。だから僕はこの思い出を決して削られることのない箱にそつとしまっておきたい。——今年度の寮生の感想文より——学生であるがゆえにまた多感純粋な時期と思うが、一人の青年の言葉として、非常に感銘を受けた。

学寮という一見時代遅れのように見える中に、こでないと決して得ることのできない学生時代ならではの宝ものがあるのかもしれない……。

## 校友会グッズプレゼント!!

このコーナーでは、プレゼントを募集中。  
どんな大きな物から手の平サイズまで、  
エニシングOK!! 貴殿のPRも添えてどうぞ。

### 徳大インスタントカメラ

提供/徳山大学



徳山大学のキャンパス全景がプリントしてあるフラッシュ付インスタントカメラ。非売品ですので、ここだけしか入手できないとても貴重なカメラです。レジャーや、旅行のお供にどうぞ。

5名

徳大Tシャツ提供/校友会

10名



胸にボブの葉をワンポイントした白いTシャツ。学生の皆さんからは大好評!!

こちらを徳山大学を卒業されたOB・OGの方10名様へ特別にプレゼントいたします。また、随時校友会にて販売いたしております。

### 〈応募方法〉

官製ハガキに希望の商品名、住所、氏名、年齢を書いて、〒745 徳山市久米徳山大学校友会事務局までご応募下さい。発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

### あなたの記事が 会誌をつくる

校友会広報部ではOBからのあらゆる情報をお待ちしています。会社を起した人、自分の夢に挑戦でおられる人、その他何でも24時間FAXにて受け付けています。FAX Noは電話と同じ0834-2817454、たくさんさんの情報をお待ちしています。



### 編集後記

年度もいよいよ押し迫ってようやく発行した会誌でしたが、いかがだったでしょうか。今年度より瀬川広報部長のもと20期卒元執行部委員長今元氏を迎えて本会誌も新展開の様相をみせています。  
"とくだい" という愛称でこれからも紙面の充実を図りたいと思います。

### 情報投稿募集

### 協賛広告の 募集

現在会員数約9,000名の本会の主な収入源は卒業時に納入される入会金と永年会費である。その後、特に定期的徴収はしない。しかし、この後も会員数は増加の一途である。そこで一定の収入の中で圧迫する部分が他ならぬこの会報の発行である。しかし会報を充実させ、さらに情報を送り出すということは、校友会の目的として最も大切な事業のひとつである。

そこで、この会報を発行するにあたっての協賛広告の掲載募集を行います。より充実した紙面づくりのためどうかご理解ご賛助いただきたいと思っております。詳しくは、校友会事務局までお問い合わせ下さい。